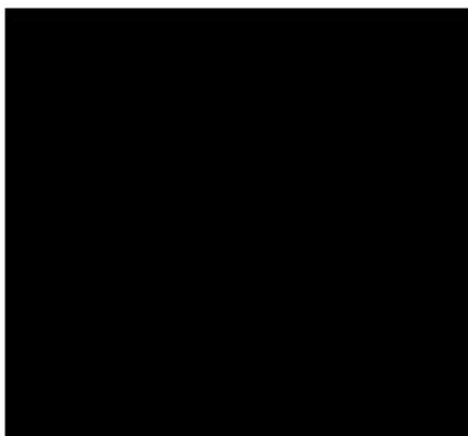
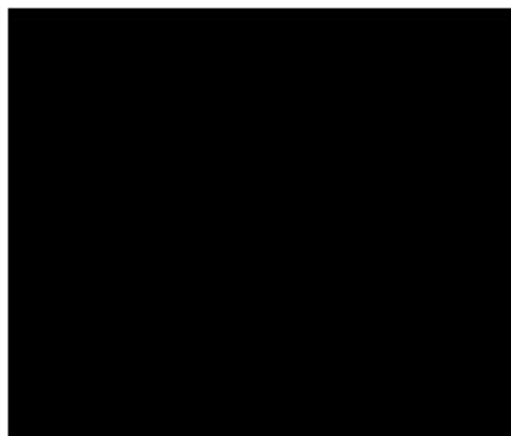




令和8年 皇居での新年一般参賀

日本憲政社機関紙

発行所

憲政新聞社

〒330-0071

さいたま市浦和区上木崎
1丁目7番3号301

電話 048(822)5758 (代)

毎月1回 1日発行

発行人 牧島憲意知
編集人 同上

郵便振替口座
00140-3-127099

銀行口座
みずほ銀行 大宮支店
普通預金 1852280

権新年増朝 あ打心三スで者ど もののラ保敗あで衆 たら馬ば総党「 い期り本一初い総にが自
合の十大三高ろちの原パあへ「皇ので支ル守因り三院石のもう車立力に「自高も待「政事のみ裁し選民令
意会月にヶ市出い則イのの重位では持「「はま連選破の「馬て結し民市のと国治を女しがて出党和七
書でに封政とすくな防の丁要継あな者色を「す敗「政でとの直集て党総りあ望が大っ首「生めれ裁
に締自処の権で「努力まど止は寧な承り「いのを逸自がを都権し「うな顔く「合「計寄なし誕本たの結で
基結民す軍「が党支制論説題憲。と望めし党そし選自「力にい張。全の「りせ変て生憲年女党高
づし党る事「は、不の持定の明に法。推にた「がのた「民「の働。ら全の「こい全な世入。知ら化も「政で性七市
きたとた的中「可考者「こがは改。察あこ「「大わ参党「こい全な世入。知ら化も「政で性七市
「連日め脅・「欠えの非と必支正。すつとり正きけ院は「もて員け代っ「れれで「こ史ご総十早
安立本「威露「でを得核「要持な。るたへべ統なで選、 なるあ日の上ざ理年苗

か襲 でも策で憲 しえ改とず守「相いる業書相す て後持のををとと作会作四 まの点 い民針中保
国しそあののは法非てら定何「す持はま段がのはるこいもす中踏お述らで首十こす。見の改る党をに障
是たれりと必なの核いるれ作度はるた「す階始見国かのま変るで襲りべず核相二の。直一定こで打前関
のがをま解要く要三「この主直、これ「にま直会に非す。わともし「た「兵が年非 しつにともち倒連
如た歴。積性「請原「ことと中張す「作「まかいのはのい三 らの非「歴「持器衆「核 間に際しと検出し三
くめ代 すか当に則「ことと中張す「作「まかいのはのい三 らの非「歴「持器衆「核 間に際しと検出し三
扱にの るる時基は「思「はでし必持ら「で「しとでこ質て原 い本三行政記込「の時原 が非て「思「が改書
わ「政 のの生づ「い「ほ検て要ちず「答申れ疑「則 示針則三はとせた算佐は 拳核のす。まりす今
れい権 がま国く日「ま「ほ討おが込「原高弁しかで高を 示針則三はとせた算佐は 拳核のす。まりす今
るつが 自れ会も本す確がりあまは則市しあら三市堅 さはを文こなず委藤昭 ら原な っ「る年
よし踏 然た対の国「定加「るせ違の首てげ作文首持 ら今堅書れっ「員榮和 ら則論 て自方度

と込しと る高するの面中核 かすのまこ日を ん。一備に核 りし核穴絶が海わ現の保の 得間核
をま「しとめると防し露兵急？る核せと本高そ 切しどのます。抑をす持・ら伏傘障基日ま題抑
望せ非てず「る核と衛て朝器速の抑ずを国めので止「い止あるち領ずでには軸本せで止
むず核三「三文取り「のに力「早日国圧備は力「は政こす核るさにかのには「と論愚はれ米本そしがて米 観込そす。しは込た際今 中「識でもをもに
もの「は原書の組「迫の米急本のをを「ない策うる兵のがに核よ、はと拳「る国の領にい供り盟 と点まも 務をすはにも 急止せに勢最 務をすはにも 急止せに勢最 務をすはにも 急止せに勢最
「腐則の改み「定の「こち際環

